

パソコン教室の窓から(66)

NPO 法人コミュニティNET ひたち(Cnet) 久保 裕

令和6年の年賀状

今年も元旦に配達される年賀状を出した。「年賀じまい」をする高齢者が増えている。近親者や友人でさえも一年に一回も会わなくなっているが、せめて年賀状ぐらい面倒くさがらずに出すのもいいだろう。ご挨拶がわりに年賀状を出すご縁は大事にしたいものだ。

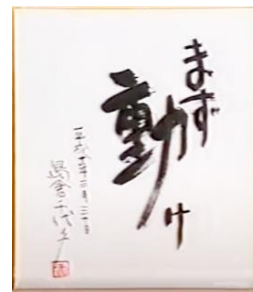
今年の年賀状の絵は干支の辰にちなんで、日光東照宮陽明門の天井絵「昇り竜」狩野探幽画を謹写した。そして上部に筋斗雲を浮かべた。『西遊記』で孫悟空は苦しくなると筋斗雲に乗って観音菩薩に救いを求めに行った。「竜もとどかぬ流れ雲」だ。



十二支の動物で唯一、伝説上の生物である霊獣の竜。古くから日本でも、水や海の神として祀られ、「竜が現れると何かおめでたいことが起きる」と考えられていた。冬は水中にひそみ、夏は天に上っていくとされ、竜巻や雷、虹などの自然現象を起こすとして大自然の躍動や鳴動を象徴するものだ。

また、有名な故事「登竜門(とうりゅうもん)」では、鯉が滝を上ると竜になるという伝承があり、立身出世の縁起物として現代でも親しまれている。

「竜もとどかぬ流れ雲」は、昭和平成の歌姫が歌手生活 30年の記念演奏会で歌った『恋椿』の一節だ。紫綬褒章を受けたとき、インタビューで右図の色紙「まず動け」を示した。雲の動きのように自由に止まらず病にも屈せず、竜にも負けていない。生涯を終わる直前まで歌のレコーディングをする気力を維持した。



いままでの辰年を振り返ってみよう。60年前の1964年には年東京五輪が開催され、東海道新幹線が開業した。私が日立製作所の日立事業所に就職した年だ。1988年の辰年には青函トンネル・瀬戸大橋が完成している。12年前の2012年には東京スカイツリーが完成した。このような国家プロジェクトが始まることが多いのも辰年の特徴だ。